

平成 28 年度
埋蔵文化財調査士補
資格試験
筆記問題答案用紙
(I 択一式)

受験番号	氏 名			
B-				

試験日：平成 28 年 8 月 27 日 (土)
会場：東京御茶ノ水「連合会館」

公益社団法人



日本文化財保護協会

【 I 】 次の設問に対し、A～Dのうち一つだけ記号を選択して解答欄に記入しなさい。

問 1 埋蔵文化財調査士・調査士補の資格制度で、間違っているものはどれか。

- A. 調査士は発掘調査から報告書作成まで一貫して責任をもって実施できる。
- B. 調査士補は発掘調査現場を統括し、人事管理、安全管理、工程管理を行いながら発掘調査を適切に実施できる。
- C. 調査士補は CPD ポイント不足による未更新者であっても実務経歴と必要条件を満たせば特例として調査士試験の受験資格を与えられる。
- D. 調査士、調査士補の資格制度は、埋蔵文化財調査に携わる者が資格にふさわしい知識と技術が備わっていることを保証するものである。

問 1	C
-----	---

問 2 埋蔵文化財調査士・調査士補が所定の継続教育 CPD プログラムでポイントが獲得できない項目を下記から選びなさい。

- A. 博物館等のワークショップなどのイベント参加
- B. 博物館等の展示見学
- C. 博物館等の講演会・連続講座の参加
- D. 日本文化財保護協会主催の講演会の参加

問 2	A
-----	---

問 3 事業場の安全衛生管理体制に関する既述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- イ 常時一定の数以上の労働者を使用するすべての事業場は、安全管理者を選任しなければならない。
 - ロ 常時一定の数以上の労働者を使用するすべての事業場は、衛生管理者を選任しなければならない。
 - ハ 常時一定の数以上の労働者を使用するすべての事業場は、安全衛生推進者を選任しなければならない。
 - ニ 常時一定の数以上の労働者を使用するすべての事業場は、産業医を選任しなければならない。
- A. イ及びロ
 - B. ロ及びニ
 - C. ハ及びニ
 - D. イ及びハ

問 3	B
-----	---

問 4 掘削に関し労働安全衛生法令上誤りはどれか。

- A. 車両系建設機械の作業中は労働者に危険が生ずるおそれのある箇所への立ち入りを禁止しなければならないが、誘導者を配置し、この者に車両系建設機械を誘導させるときはこの限りでない。
- B. 掘削面の勾配について、岩盤又はかたい粘土の地山の手掘り作業では、掘削面の高さ 5m 以上では 85 度以下としなければならない。
- C. 砂からなる地山の手掘り作業では、掘削面の勾配は 35 度以下又は掘削面の高さを 5m 未満としなければならない。
- D. 掘削面の高さが 2m となる地山の掘削の作業では地山の掘削作業主任者の選任が必要である。

問 4	B
-----	---

問 5 地山の掘削作業主任者の職務として労働安全衛生法令上規定されていないものはどれか。

- A. 器具及び工具の点検
- B. 保護具の使用状況の監視
- C. 残業時間の把握
- D. 作業直接指示

問 5	C
-----	---

問 6 労働者を就業させる屋内作業場の衛生基準に関し労働安全衛生法令上正しいのはどれか。

- A. 常時女性 10 人以上使用するときは、臥床することができる休養室等を男性用と女性用を区別して設けなければならない
- B. 作業面の照度は原則として、精密な作業 500 ルクス以上、普通の作業 300 ルクス以上、粗な作業 150 ルクス以上としなければならない
- C. 日常的に行う清掃のほか、大掃除を 6 月以内ごとに 1 回、定期的に行わなければならない
- D. 救急用具の備え付けは労働者数で決められており、常時使用する労働者が 50 人以上となると救急用具を備えなければならない

問 6	C
-----	---

問 7 文化財保護法の中で埋蔵文化財に関する法は第何章で第何条から第何条までが該当するか。

- A. 第 4 章 第 71 条から第 77 条
- B. 第 5 章 第 78 条から第 91 条
- C. 第 6 章 第 92 条から第 108 条
- D. 第 7 章 第 109 条から第 133 条

問 7	C
-----	---

問 8 確認調査を行う場合、調査対象面積の何%程度を基準としているか。

- A. 1～5%
- B. 5～15%
- C. 10～15%
- D. 10～20%

問 8	B
-----	---

問 9 文化財保護法第 92 条の発掘届に記入する項目で該当しないものを選べ。

- A. 発掘調査の目的
- B. 調査着手の予定時期
- C. 調査終了の予定時期
- D. 報告書刊行の予定時期

問 9	D
-----	---

問 10 三者協定書の締結者として通常該当しない者は誰か。

- A. 教育委員会
- B. 事業者
- C. 調査主体者
- D. 工事施工会社

問 10	D
------	---

問 11 当該教育委員会が発掘調査の評価を行う場合、判断基準として評価の低いものはどれか。

- A. 調査作業量に関わらず工程内に調査が終了出来るように独自に実施した。
- B. 当該教育委員会の指導内容に適切な対応をして調査を実施した。
- C. 調査仕様に適切な対応をして調査を実施した。
- D. 調査実施計画書に適切な対応をして調査を実施した。

問 11	A
------	---

問 1 2 大山柏が主宰して発行した雑誌はどれか。

- A. 上代文化
- B. 史前学雑誌
- C. 考古学雑誌
- D. 人類学雑誌

問 12	B
------	---

問 1 3 「通論考古学」の著者は誰か。

- A. 鳥居龍蔵
- B. 山内清男
- C. 浜田耕作
- D. 中谷治宇二郎

問 13	C
------	---

問 1 4 史前学研究所において縄文土器編年研究を進めたのは誰か。

- A. 八幡一郎
- B. 酒詰仲男
- C. 山内清男
- D. 甲野勇

問 14	D
------	---

問 1 5 戦前において弥生時代の木製品を池から大量に出土した遺跡はどこか。

- A. 志村遺跡
- B. 板付遺跡
- C. 鬼高遺跡
- D. 唐古遺跡

問 15	D
------	---

問 1 6 弥生時代の再葬墓遺跡として出流原遺跡が有名ですがもう一ヶ所をあげればどこか。

- A. 天神前遺跡
- B. 須和田遺跡
- C. 宮ノ台遺跡
- D. 和泉遺跡

問 16	A
------	---

問 1 7 日本列島に確認されている前方後円・前方後方墳の合計数はどのくらいか次のうちから答えなさい。

- A. 約 1 万基
- B. 約 5 千基
- C. 約 3 千基
- D. 約 1 千基

問 17	B
------	---

問 1 8 1962 年に発表された西嶋定生「古墳と大和政権」は何が主題であったか次から答えなさい。

- A. 古墳は大和朝廷の身分秩序を表したもの
- B. 古墳は神仙思想をあらわしたもの
- C. 古墳は魂が天上界へ上るための装置
- D. 古墳は王位継承儀礼をおこなう場所

問 18	A
------	---

問 1 9 1936 年に和島誠一が古代集落論を展開したときに例とされた遺跡は次のうちどれか。

- A. 埼玉県五領遺跡
- B. 東京都志村遺跡
- C. 千葉県鬼高遺跡
- D. 神奈川県三殿台遺跡

問 19	B
------	---

問 2 0 次の出現期古墳に関する説明のうちカッコ内に入る言葉を選びなさい。

弥生終末期から古墳時代初頭にかけて、多様な弥生墳丘墓を止揚した一定形式の高塚（墳墓）が現れる。その分布は福島県から福岡県にかけて広がり、前方後円墳形を呈している。とくに大和東南部の纏向遺跡周辺では、ホケノ山古墳・纏向石塚古墳・矢塚古墳など数基が集中している。このことから、これらの古墳を（ ）と呼び、定型化した前方後円墳出現以前に位置づけられるとする考えが有力である。これらの古墳（墳墓）に特徴的なのは①前方部と後円部長が1対2であること。②前方部が直線的ではなく撥型に開くことである。最古式の前方後円墳である箸墓古墳も前方部先端は撥型であり、その連続性が注意されている。

- A. 畿内型古墳
- B. ホケノ山型古墳
- C. 大和型古墳
- D. 纏向型古墳

問 20	D
------	---

問 2 1 次の文章は古代官衙の下級役人の事務仕事を推定したものだが、カッコ内に入る言葉を選びなさい。

古代の日本では役人のことを別称で（ ）と呼んでいた。これは紙が少なく貴重であった古代には、木札や竹札に事務文書や用件を書いて先方に伝えたことがあったからである。日本では木札が主で木簡といわれている。文字が木札に書いてあるから、間違えればそこを小刀（刀子）で削って書き直せばよく、不要になった内容は、全面削ってもう一度使用できる。このため下級役人は筆と刀子を必ず持ち歩いていたことから（ ）といわれることになったのである。

- A. 木簡の吏
- B. 刀削の吏
- C. 書筆の吏
- D. 刀筆の吏

問 21	D
------	---

問 2 2 次の平城京建設に関する記述を読みカッコ内に入る言葉を選びなさい。

平城遷都の詔が発せられたのは和銅元年(708)のことである。元明天皇が下した決断には、平城の地は四禽図に叶い、春日・奈良・生駒三山は鎮めとなり、地相をうらなった結果もめでたいとある。四禽とは高松塚の壁画にみられる青竜・白虎・朱雀・玄武で川・道・池・山が各方向にあり、平城の地が（ ）に適合した最良の地であることが理由であった。

- A. 陰陽思想
- B. 神仙思想
- C. 仏教思想
- D. 回教思想

問 22	A
------	---

問 2 3 平城京の長屋王邸宅跡の調査は、平城京域で特筆される広面積の調査であったがこの原因は次のうちどれか。

- A. 近鉄車両区の建設
- B. 奈良郵便局の建設
- C. 奈良そごうデパートの建設
- D. スーパー西友の建設

問 23	C
------	---

問 2 4 次のうち正しいものはどれか。

- A. 鎌倉時代の城郭調査では、石垣の構築技法を見極めることが重要である。
- B. 織豊系城郭の段階では、まだ石垣は用いられない。
- C. 15世紀になると、切込み矧ぎの整然とした石垣が構築されるようになった。
- D. 鎌倉時代の城郭には、一般に石垣は用いられない。

問 24	D
------	---

問 25 次のうち正しいものはどれか。

- A. 一乗谷朝倉氏遺跡の発掘調査によって、古絵図に描かれた城下の様子が追認された。
- B. 一乗谷朝倉氏遺跡は、山上の居館を中心として山裾に同心円状に開けた城下町である。
- C. 一乗谷朝倉氏遺跡は、信長に焼き討ちされて以来、長く荒廃していた。
- D. 一乗谷朝倉氏遺跡は、城下に湊を取り込んだ交易に適した地勢を生かして建設されていた。

問 25	C
------	---

問 26 次のうち正しいものはどれか。

- A. 板碑は、中世に盛んに造立された石造塔婆の一種である。
- B. 板碑は、近年の発掘調査によって急速にその存在が知られるようになった。
- C. 板碑には、故人の事績を記した墓誌が刻まれている。
- D. 板碑は、本来地上に立てられていたものであって、発掘調査によって出土することは滅多にない。

問 26	A
------	---

問 27 次のうち正しいものはどれか。

- A. 京都は、古代平安京の当初の姿が、大きく変わらずに現代まで続いた都市である。
- B. 京都は、度重なる戦乱や災害の結果、荒廃・復興を繰り返して今日に至った都市である。
- C. 豊臣秀吉は、大きな土木工事を行うことなく、京都市街を再興した。
- D. 京都市中には、応仁の乱以降の遺構は残っていない。

問 27	B
------	---

問 28 次のうち正しいものはどれか。

- A. 江戸遺跡はきわめて新しいため、層序の新旧関係はほとんどみられない。
- B. 宝永の富士山噴火（1707）は、当時の江戸の市街を壊滅させた。
- C. ほぼすべての地域から木製品が多量に出土することが江戸遺跡の特徴である。
- D. 江戸遺跡の形成には、災害と復旧時の整地が大きく関わっている。

問 28	D
------	---

問 29 次のうち正しいものはどれか。

- A. 近世の生活を復元するには、普遍的に出土する陶磁器で行うことになる。
- B. 鎖国令が敷かれた江戸時代には、陶磁器の輸出入は途絶えた。
- C. 近世の流通経済を復元するには、陶磁器は大きな指標となる。
- D. 近世になると、碗皿などの食器はすべて陶磁器で賄われた。

問 29	C
------	---

問 30 次のうち正しいものはどれか。

- A. 「産業考古学」は、産業遺跡・技術記念物によって技術文化の研究を行う学問である。
- B. 日本の「産業考古学」は、当初から、積極的に発掘調査を行ってきた。
- C. 産業考古学会は、日本考古学の一翼を担っている。
- D. 日本の「産業考古学」は、主に庶民の暮らしの解明に努めてきた。

問 30	A
------	---

問 3 1 TIFF に関して正しい記述はどれか。

- A. 写真の保存に TIFF は適していない。
- B. 1bit 画像の保存に TIFF は適していない。
- C. TIFF は非圧縮および可逆圧縮のフォーマットである。
- D. TIFF は LZW 圧縮がかけられる。

問 31	D
------	---

問 3 2 色を再現する上で、それほど重要でない要素はどれか。

- A. 演色性や色温度
- B. カメラおよびレンズの基本性能
- C. ディフューズ、バウンス、背景の素材
- D. ニュートラルグレーないしカラーチェッカーの写しこみ

問 32	B
------	---

問 3 3 光り物撮影の照明ノウハウと最も関係が浅い要素はどれか。

- A. ミックス光を避ける。
- B. 十分なディフューズないしバウンスによる拡散光。
- C. 光源の種別。
- D. 商品撮影台（ブース）。

問 33	C
------	---

問 3 4 RAW 現像すると良いことを列挙した。当てはまらないものはどれか。

- A. 階調が 12~14bit あって、JPEG より豊富。
- B. ロスレス圧縮によってデータ容量を JPEG と同等にできる。
- C. シャドウやハイライトを生かし、好ましい画像に仕上げやすい。
- D. 画像の調整処理を現像パラメータとして記録し、再現できる。

問 34	B
------	---

問 3 5 分布調査について文化財保護法や文化庁通知の中で示しているうち正しくないのはどれか。

- A. 文化財保護法では地方公共団体の役割として、周知の埋蔵文化財包蔵地について必要な措置の実施を求めており、分布調査を行う根拠となっている。
- B. 平成 10 年の文化庁次長通知の中で、遺跡範囲の把握を行うよう明確な指示がだされた。
- C. 国で遺跡として扱う範囲をおおむね中世までとし、近世については地域において必要なもの、近・現代については特に必要なものは対象とすることができるとした。
- D. 文化財保護法では分布調査の実施について明確な記述がないため、する必要はないと判断される。

問 35	D
------	---

問 3 6 遺跡地図から得られることのできる情報のうち誤りはどれか。

- A. 遺跡の立地環境。
- B. 同一地域の遺構の変遷。
- C. 一定地域の同一時期の空間的広がり。
- D. 遺跡の時間的変遷。

問 36	B
------	---

問 3 7 分布調査で遺跡の確認が最も困難な状況は、次のうちどれか。

- A. 土地の上に火山噴出物が厚く堆積しているため踏査は不可能。
- B. 山城の踏査は山林が主であるためその存在は不明と言わざるを得ない。
- C. 条里水田は水田地帯が踏査地であることが多く、遺物等が散布していないため実証できない。
- D. 台風等で災害が発生し大量の土砂流入があったが、過去に遺物を拾えたと聞いたことがあるため遺跡と認定した。

問 37	A
------	---

問 3 8 文化財情報システムを構築すると得られる効果のうち、正しくないのはどれか。

- A. 開発側からの問い合わせに対し、迅速な対応を図ることができる。
- B. 学習材料として情報を提供できる。
- C. 土地利用に対する課税対象として情報を提供することができる。
- D. 別個の仕事であった、遺跡の検索・諸記録の確認・遺跡地図の複写等が同時に行うことができる。

問 38	C
------	---

問 3 9 エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置による黒曜石原産地推定のうち正しいものはどれか。

- A. 違う機種でも同じ条件で計測した結果は比較利用することができる。
- B. 違う条件でも同じ機種で計測した結果は比較利用することができる。
- C. 同じ機器、同じ条件で計測した機器の結果のみ比較利用することができる。
- D. 複数の機器、複数の条件で計測した結果を統計処理して平均化し、利用する。

問 39	C
------	---

問 4 0 エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置による黒曜石原産地推定の利点はどれか。

- A. 遺物の表面の風化、変質、汚れによる化学組成の変化の影響を受けない。
- B. 分析精度が非常に高い。
- C. 遺物を破壊する必要がない。
- D. 微細な物や薄い試料も測定できる。

問 40	C
------	---

問 4 1 土器付着炭化物の分析の結果として正しいものはどれか。

- A. 炭素・窒素の安定同位体比によって、イネ由来と、ムギ由来の炭化物がわかる。
- B. 炭素・窒素の安定同位体比によって、海棲動物由来か陸生動物由来かがわかる。
- C. 炭素・窒素の安定同位体比によって、海獣と陸上動物との区別は付かない。
- D. 炭素と窒素の比率をとっても、澱粉質が多い食料に由来するかどうかはわからない。

問 41	B
------	---

問 4 2 人骨のコラーゲンに含まれる炭素・窒素同位体比として正しいものはどれか。

- A. 食性によって値はほとんど変化しない。
- B. 食性によって炭素・窒素同位体の値がともに変化する。
- C. 食性によって炭素同位体の値のみ変化する。
- D. 食性によって窒素同位体の値のみ変化する。

問 42	B
------	---

問 4 3 以下の試料で年代測定に不適切な試料はどれか。

- A. 古代インドの葉に書かれた経文。
- B. 中世絵画の額。
- C. 高温で火葬された骨。
- D. たたら製鉄の際の鉄滓。

問 43	C
------	---

問 4 4 ウィグルマッチング法について、間違っているのはどれか。

- A. 樹皮が付いていないと、伐採年代を高精度で求めることができない。
- B. 較正曲線の変動が激しい時期において、年代を絞り込みやすい。
- C. 暦年較正プログラムの Oxcal には、ウィグルマッチング法を行う機能がある。
- D. 年輪が多数あれば、樹皮がなくても伐採年代を高精度で求められる。

問 44	D
------	---

問 4 5 発掘現場での出土木製品の説明として正しくないものを一つ選べ。

- A. 出土木製品は乾燥すると原形をとどめないほど収縮することがある。
- B. 柱根など立った状態で出土した木製品は上端部に加工痕があることが多いので上端部を乾燥させないように水をかけて養生する。
- C. 現場で木製品を充分養生することは困難なので差し支えない限り速やかに取り上げて、水漬けにするなどの処置をすべきである。
- D. 濡れた状態では接合できない木製品の破片であっても保存処理後に接合可能になることがあるので将来必要になりそうなものは養生しておく。

問 45	B
------	---

問 4 6 出土青銅・金銅製品の仮保管の注意点として正しくないものを一つ選べ。

- A. 銅銭は真鍮製のワイヤーブラシで良く磨いてからポリ袋に入れて仮保管する。
- B. ポリ袋で仮保管する場合は乾燥剤を入れた密閉容器にまとめて保管するのが良い。
- C. 煙管の雁首や吸口に羅宇（ラオ）が残存していることがあるので注意して仮保管する。
- D. 金銅製品は振動などで金が剥離することがあるのでポリ袋ではなく緩衝材を敷いた容器に入れて仮保管する。

問 46	A
------	---

問 4 7 出土漆製品の仮保管の注意点として正しくないものを一つ選べ。

- A. 漆を塗った木製品（漆椀等）は木胎部が著しく劣化していることが多いので、袋ではなく容器に水とともに入れて仮保管する。
- B. 剥離した漆膜は良く乾燥させて保管しておく、保存処理後の本体に貼り付けるのが容易である。
- C. 漆塗りの土器はカビに注意しつつ、乾燥を避けて仮保管する。
- D. 漆膜の剥離を避けるために頻繁な水替えを控えて冷暗所に保管するのが良い。

問 47	B
------	---

問 4 8 保存処理完了後の出土木製品の保管上の注意点として正しくないものを一つ選べ。

- A. 保存処理後の木製品は極力乾燥を保つためシリカゲルを入れて密封保管する。
- B. PEG で保存処理した木製品は相当重くなっている、自重で接地部分に圧痕が生ずることがあるので注意が必要である。
- C. PEG で保存処理した木製品は高湿度の環境下で PEG が溶け出すことがある。特に、結露するような場所は避けなければならない。
- D. 脱酸素剤とガスバリア・フィルムで木製品を保管する場合には水分中立型の脱酸素剤を用いる。

問 48	A
------	---

問 4 9 赤色顔料の説明として正しくないものを一つ選べ。

- A. 古墳出土の青銅鏡に赤色物質が確認された場合は必ず水銀朱と考えて良い。
- B. 一般に発掘調査で出土する赤色顔料は水銀朱とベンガラであるが、赤土や焼土との識別に注意すべきである。
- C. 縄文土器に塗られた赤色顔料は水洗によって流れることがあるので注意が必要である。
- D. 赤色顔料の同定には蛍光 X 線分析が簡便かつ非破壊的で有効な方法の一つである。

問 49	A
------	---

問 5 0 出土鉄製品の保存処理法の説明として正しくないものを一つ選べ。

- A. 出土鉄製品のサビに悪影響をもたらす塩化物イオンをなるべく減らすために脱塩処理をおこなうのが一般的である。
- B. 出土鉄製品の中には金銀などによる象嵌が施されている可能性があるため小破片に至るまで全点を X 線で透過検査することが望ましい。
- C. 古墳出土の直刀には木質、鹿角、布の痕跡などが付着していることがあるのでクリーニング前にていねいに観察する必要がある。
- D. 出土鉄製品の含浸に用いられる薬剤はポリエチレン・グリコールである。

問 50	D
------	---